



南アフリカ通信

No.10 (2023.4)

JICA 海外協力隊 (2022 年度 1 次隊)
小学校教育 北川裕介



2～6年生のみなさん、ご進級おめでとうございます。1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。4月からいよいよ新しい学年が始まりました。新たな出会いもあり、楽しみなことやがんばりたいことがきっとたくさんあるのではないのでしょうか。何事も始めが肝心と言います。今のその気持ちを大切に、この1年間をどのように過ごしていきたいのか、1年後にどんな姿になっていきたいのかなど、しっかりと目標を決められるといいですね。

さて、シロアム小学校は12日から2学期がスタートしています。ちょうど南アも日本もスタートのタイミングだったので、よい機会だと思いシロアム小の子どもたちにアンケートでいくつか質問をしました。

好きな教科は何か？ 苦手な教科は？

どんな夢や目標があるのだろう？

勉強(学ぶこと)や学校に対してどのように考えているのかな？



全校集会
(1学期の成績優秀者の表彰式)
全校1117名。歩くすき間がないほどギューギューになって座っています。

～アンケート結果～

回答者 Gread6～7(106名) ※無回答・現地語による解答(12名)

Q1. 好きな教科(複数回答可)

1位	算数	47票
2位	英語	35票
3位	ヴェンダ語(国語)	11票
4位	クリエイティブアート (ダンス・演劇・音楽・美術)	5票
5位	ライフスキル (保健体育・図工・福祉)	4票

Q2. 苦手な教科(複数回答可)

1位	理科	30票
2位	社会(地理・歴史)	14票
3位	算数	13票
4位	英語	12票
5位	ヴェンダ語(国語)	4票

Q3. 夢や目標(複数回答可)

1位	医者	36票
2位	警察官	15票
3位	先生	7票
4位	サッカー選手	5票
5位	パイロット・弁護士・エンジニア	4票

算数が好きな子が多くて意外でした(私に気を遣ってくれたのかも...)。南アでは理科科目を苦手とする子が多く、近隣国と比べても成績が低いことから国全体の課題になっています。

他には・・・
・ネットボール選手 ・バレーボール選手
・ビジネスマン・軍人・科学者・歌手・DJ
・ソーシャルワーカー・農家・パン屋
・社長(自分の会社と農場を持ちたい)
・本を読めるようになりたい
・世界中の助けを必要としている人の力になりたい



夢や目標を書く子どもたちの表情はとても生き生きしていました。話したり書いたりして言葉にするって大事ですね!

Q4. 学校で過ごす時間は好きですか？その理由は？

Yes (91票)	No (3票)
<ul style="list-style-type: none"> ・新しいことをたくさん学べるから。 ・賢くなれるから。 ・友達に会ったり、スポーツをしたりできるから。 ・目標や夢に近づいている（成長できる）から。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が授業中に見てくれないから。

先生の指導にも課題はありますが、1クラス70~80人という環境も要因ですね。



スポーツ大会へ向かうバス内の様子
人数が多く座る席がないので、友だちのひざの上に乗っています。子どもたちは楽しそう。でも、私は不安でいっぱい…。

Q5. 勉強は大切だと思いますか？その理由は？

Yes (94票)
<ul style="list-style-type: none"> ・夢を叶えたり、目標を達成したりするため。 ・成長して素晴らしい大人になるため。 ・人生で成功するため。・幸せになるため。 ・テストに合格し、進級するため。良い成績のため。賢くなるため。 ・お金を稼ぐため。 ・資格を取り、仕事に就くため。 ・勉強は知らないことを教えてくれる。 今読んだり書いたりできるのは勉強のおかげ。 ・私が思うように表現（書いたり話したり）したい。 そのためには、知識がいるから。 ・勉強は世界観や価値観を広げてくれる。 ・勉強することで知識がついて、もっと難しいことが学べるようになる。 ・自分の考えを確かにして、よりよく考えられるようになるため。



ヴェンダ語（国語）の授業の様子
全員分の教科書はないので、交代で音読をしています。

とても素晴らしい考えがたくさん！！
中には、切実な理由も…。
南アの失業率は約32%
(2023年2月時点)、貧困率が高い、学校では留年制度があるなど様々な要因がありそうです。

学ぶ理由 -子どもたちの回答から思ったこと-



「どうして勉強しないといけないの？」

「大人になってからは必要ないじゃん。」

特に苦手な教科を勉強している時にはこのように思いがちです。（私も小中学生の時はそうでした…。）

確かに学んできたこと全部を必要としている大人は少ないと思います。しかし、『知っていることがいっぱい、できることが増える、考え方や学び方の幅が広がる』というのはとても素晴らしいことで、幸せなことである

と思います。また、そうなるために努力（勉強や練習）する過程が大変意味のあることではないでしょうか。

『学ぶ理由』は人それぞれですが、私はそのように考えています。そして、シロアム小の子どもたちも『学ぶ理由』について、しっかりと自分の考えをもっていました。正直、想像以上の回答にはっとさせられました。

南アの地方部ではまだまだ学ぶ環境が整っていなかったり、教員の知識や指導力が高くなかったりといった課題が多いのが現状です。子どもたちの『学ぶ意味』に最大限に応えるためにも、より質の高い教育を目指して、私の任務「現地教員（特に算数）の指導力向上」を達成していけるように頑張りたいと思いました。